

かすみがうら市では、地区神社の鎮守祭、通称「まち」とか「秋祭り」などと呼ばれ行なわれています。祭りは、「鍋掛けず」

九月九日、十九日、二十九日を総称してミツクニチ（三十九日）といい、その日に茄子を食べると良いとされています。地域によっていずれかの九の付く日を主たる日として祭礼を行います。中でも九月九日は、「重陽の節供」でもあることからよりめでたい日とされます。

一般的なミツクニチ祭礼の形は、各家の氏神様の幣束（神の依代）を交換し、赤飯や甘酒をそなえて祝ったり、村ごとの鎮守の祭りを行なったりします。氏子が、村の鎮守に、新米を出し合って仕込んだどぶろくを供え、人も飲んで喜び合っている、豊作を感謝し、神人共食する神事とされます。

家庭では「鍋掛けず」、当家で食事

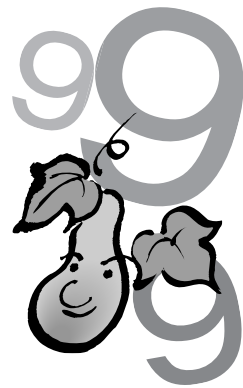
ミツクニチ
9月9の付く日



ふるさとの年中行事

で集落全体が炊事をせずに、当家に集まって食事をしました。昨今は、昼食に主人のみの参加、など省略化されています。また、祭礼日も各地区それぞれで都合で変更しているところが多く、九の付く日に関係なく行なわれるようになりました。

戦前は、村社の鎮守へ、村長が礼拝祝詞、小学生の参列などがあって、余興として奉納相撲が催されたりして盛大に行なう地区もありました。参列の小学生には塩がま、鉛筆、ノートなどが配られるところもあったようです。



文芸ひろば

俳句

戦前も戦後もここに夏わらび
枝を這う蛇の形に蛇の殻
病み臥せば耳聴くなる夏の夜半
雲の峰期待持たせて崩れけり
絵日記のページ埋まり夏果つる
酒蔵の白壁眩し豊の秋
うたた寝の腕に曇目法師蟬
秋風やベッドの私なせて行く
運命の定め知りつつ我が命

短歌

さはやかに麦の穂持ちて入会の君は黄みどりの風を運びぬ
持ち来る一束の麦すがすがし初夏の香が室内に満つ
絵手紙の写生青麦仕上がりて色めいめいの違ふ出来栄え
高きより雲雀の囀り降りしきる麦穂の波に暑き初夏の陽
吾が蒔きし胡瓜も茄子も日々育ち敷藁をせし茄子に花持つ
稲田吹く風の道飛ぶ黄の蝶の色牙へざへと夏の陽に映ゆ
梅雨明けの山の緑に浮くが如日暮涼しくねむの花咲く
胸の下ライン切りかえ足長に見せるフアッション若きら多く
乾杯のグラスにそそぐ赤ワイン長命賜はりまなぶたうるむ
孫等にも小さなプライドそれも良し、付かず離れず湖辺りを行く

宮本和子（中佐谷）
目黒しづ子（稲吉東）
鳥海 力（下稲吉）
遠藤重富（下稲吉）
佐藤千代（穴倉）
小室和則（西成井）
鈴木春雄（戸崎）
前島和子（雪入）
矢口きぬ（下土田）
菅谷味子（柏崎）

かのう栄（穴倉）
中島暉子（下志筑）
丹部瑛雄（下稲吉）
枝 力（稲吉）
石塚文子（牛渡下郷）
折本アイ子（鹿ノ山）
萩原とし子（南根本）
松沢よ志の（深谷二）
宮本てるみ（横堀）

教育委員会

学校だより

知 徳 体

新治小

■確かな学力の向上を目指して

平成十七年度から三年間、文部科学省委嘱・茨城県教育委員会指定「学力向上拠点形成事業」に取り組んでいます。

重点教科は国語科とし、「自分の考えを持ち、自分の言葉で表現できる児童の育成」をテーマに学力の向上を目指しています。

平成 17 年度取り組み

読書活動の充実のための朝の読書や読み聞かせ、基礎基本の定着を図るために『にいはりの時間』を設定、また、音読発表会などの行事を工夫しました。



▲発問の授業風景

平成 18 年度取り組み

「確かな読みを育てる学習過程の工夫改善を通して」を副題として、音読・発問・交流活動を学習過程に効果的に取り入れるなど授業において工夫改善をしてきました。

平成 19 年度取り組み

「読みを表現につなげる学習過程の工夫改善を通して」を副題として、書くことを中心にして、自分の考えを表現する力をつけるように、外部からの講師や他校の先生方に授業を公開し、指導法について研究協議を重ねてきました。

■豊かな心の育成を目指して

児童の心豊かな成長を目指し、多様な体験活動の充実を図り、好ましい人間関係の育成に努めています。

【学校園野菜栽培活動】
祖父母ボランティアさんの協力を得て、全学年でサツマイモを、各学年でスイカ・メロン・トウモロコシ・キュウリ・トマト・枝豆・

■緑豊かな学校林を活用して

九千六百平方メートルの学校林を生かし、高学年を中心に緑の少年団を結成して、椎茸栽培・枝打ち・間伐の体験活動を実施しています。

また、学校林の中の飯ごう炊飯場や炭焼き小屋を利用した親子行事、起伏を生かした持久走大会、アスレチックコースづくりが行なわれています。

学習面では、総合的な学習で学校林をテーマにして調査活動が行なわれ、森林の果たす役割・世界の森林の状況・今自分ができることなど、環境教育の充実に役立たせています。



▶スギやヒノキでベンチを製作（「キッズの森」づくり事業）